

Professional
Esthetic
YA-MAN

ヤーマン株式会社
2012年4月期 中間報告書

YA-MAN REPORT

2011.5.1 - 2011.10.31

[証券コード : 6630]

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご高配、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに2012年4月期上期(2011年5月1日から2011年10月31日までの第2四半期累計期間)のYA-MAN REPORTをお届けし、当第2四半期連結累計期間の経営成績などについてご報告いたします。

当上期の事業環境と業績について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策等を背景に、一部景気回復の兆しが見られたものの、円高の長期化や、2011年3月に発生した東日本大震災による影響も懸念され、景気の先行きは引き続き不透明な状態が続いております。

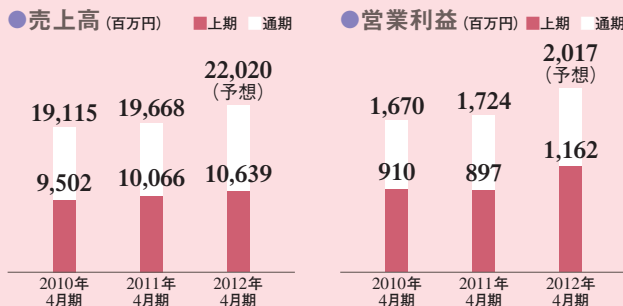
このような状況の下、当社グループは、本格的な需要期の到来した脱毛器が店舗卸を中心に売上伸長に貢献した他、お手頃な価格のセット販売による新規顧客確保と既存顧客への継続フォローによるリピート戦略により引き続き堅調に推移している化粧品も寄与し、前年同期を上回る売上高を達成いたしました。



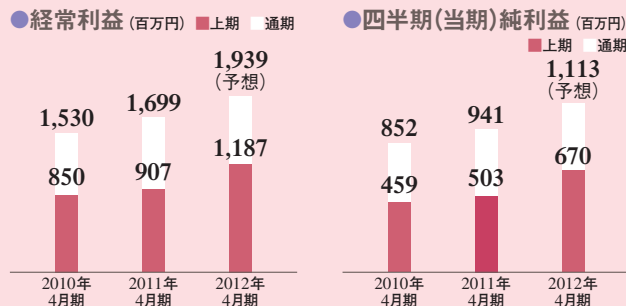
代表取締役社長
山崎 貴三代

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は10,639百万円(前年同期比5.7%増)、経常利益は1,187百万円(前年同期比30.8%増)、四半期純利益は670百万円(前年同期比33.2%増)となりました。

連結財務ハイライト



Financial Highlights



通期の見通しについて

第2四半期連結累計期間は、春から夏にかけてのシーズンとなりますので、売上を牽引するアイテムの中心は脱毛器「no! no! HAIR」でした。第3四半期以降の売上を伸ばしていく要素としては、秋から冬にかけて引き合いが増えるアイテムとして、スチーマーである「うるおいステーション」(P5参照)を大々的にプロモーションして参ります。さらに、通年で堅調に売上を支える化粧品「オンリーミネラル」について引き続き注力するとともに、プラチナゲルマローラーの進化版である「フェイスサイズUP」によって美顔ニーズに応じていきます。これらヒット商品を中心に、テレビインフォマーシャル、新聞・雑誌等の紙媒体、ブログ情報を中心としたWeb媒体等で積極的にプロモーションしていくことによって、着実に計画を進捗させて参る所存です。



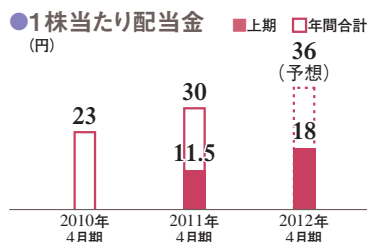
● 2012年4月期連結業績予想

(単位：百万円)

	上期実績	上期予想	達成率	通期予想	進捗率
売上高	10,639	11,059	96.2%	22,020	48.3%
営業利益	1,162	1,078	107.8%	2,017	57.6%
経常利益	1,187	1,036	114.6%	1,939	61.2%
当期純利益	670	595	112.6%	1,113	60.2%

株主様への利益還元について

中間配当につきましては、今後の事業展開や内部留保の状況等を踏まえ、株主の皆様への利益還元の観点から、当初予想通り1株当たり18円とさせていただきます。また、期末配当金につきましても、1株当たり18円を予定しており、年間ベースでは前期比6円増加の36円とする方針です。



※当社は2011年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。1株当たり配当金につきましては当該株式分割が2010年4月期の期首に行われたと仮定した場合の数値を記載しております。

株主優待

2011年7月の定時株主総会後に、株主優待品の発送を行いました。

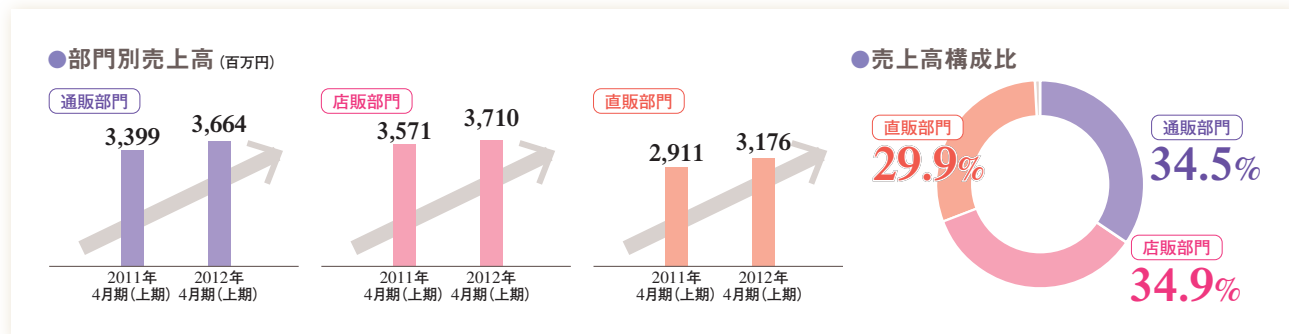
増配や株主優待、その他諸政策の実行により、株主数は2011年4月末の3,771名から2011年10月末時点で4,274名へ増加しております。



前期の株主優待品(1,000株以上)
「オンリーミネラル」

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

当上期は全販路でバランス良く売上が伸長



通販部門

主に雑誌やテレビを利用して通信販売を行う事業者向け卸売事業

- 売上高 3,664百万円
- セグメント利益 1,367百万円

靴やバッグ等のアパレル系アイテムを中心にショッピングチャンネルでの取扱が堅調に推移した他、新製品「アセチノセルビー」も地上波通販で好評であったことから、売上高は3,664百万円、セグメント利益は1,367百万円と、増収増益を確保しております。

店販部門

主に家電量販店やバラエティショップ向け販売事業

- 売上高 3,710百万円
- セグメント利益 1,760百万円

昨年度から大きく売上が牽引している脱毛器「no! no! HAIR」シリーズについて、この春よりリニューアル版を投入し、さらに売上が伸長したこと、大手百貨店での店舗展開も好調であった化粧品「オンリーミネラル」が堅調に推移したことから、売上高は3,710百万円、セグメント利益は1,760百万円となり、増収増益を確保しております。

直販部門

インフォーマーシャルや雑誌、新聞、Web等の媒体利用による個人向け直接販売事業

- 売上高 3,176百万円
- セグメント利益 △65百万円

化粧品「オンリーミネラル」シリーズは、リピートにも支えられ非常に好調に推移した一方、中長期戦略として地上波TVCMや女性誌中心に積極的に広告支出展開したことから、売上高は3,176百万円、セグメント利益は△65百万円となりました。

四半期連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期 2011年10月31日現在	前期 2011年4月30日現在
資産の部		
流動資産	10,933	10,342
固定資産	1,002	1,038
有形固定資産	560	556
無形固定資産	315	340
投資その他の資産	126	141
資産合計	11,936	11,381
負債の部		
流動負債	4,644	4,284
固定負債	1,029	1,393
負債合計	5,674	5,677
純資産の部		
株主資本	6,265	5,702
資本金	1,813	1,813
資本剰余金	1,313	1,313
利益剰余金	3,137	2,575
自己株式	△0	△0
その他の包括利益累計額	△3	0
その他有価証券評価差額金	△1	0
繰延ヘッジ損益	△1	△0
純資産合計	6,261	5,703
負債純資産合計	11,936	11,381

流動資産

店舗販売中心に売掛金の回収が進み、現金及び預金が694百万円増加

流動負債

第3四半期以降の注力商品「うるおいステーション」に関する製造原価増加等により支払手形及び買掛金が498百万円増加

売上高

脱毛器「no! no! HAIR」が牽引

営業利益

売上総利益率の高い化粧品が伸長した他、広告支出の効率化も寄与

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2011年5月1日 至2011年10月31日	前第2四半期 連結累計期間 自2010年5月1日 至2010年10月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,404	△1,801
投資活動によるキャッシュ・フロー	△35	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	△673	△667
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△11
現金及び現金同等物の増減額	694	△2,566
現金及び現金同等物の期首残高	2,524	4,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,218	1,819

営業活動によるキャッシュ・フロー
四半期純利益の計上及び売掛金の順調な回収

財務活動によるキャッシュ・フロー
有利子負債の期日返済

四半期連結損益計算書及び 四半期連結包括利益計算書 (単位: 百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 自2011年5月1日 至2011年10月31日	前第2四半期 連結累計期間 自2010年5月1日 至2010年10月31日
売上高	10,639	10,066
売上原価	4,112	4,041
売上総利益	6,526	6,024
返品調整引当金戻入額	129	140
返品調整引当金繰入額	120	112
差引売上総利益	6,535	6,052
販売費及び一般管理費	5,373	5,155
営業利益	1,162	897
営業外収益	67	54
営業外費用	42	44
経常利益	1,187	907
特別利益	—	4
特別損失	3	13
税金等調整前四半期純利益	1,183	898
法人税等	513	394
少数株主損益調整前四半期純利益	670	503
四半期純利益	670	503
その他有価証券評価差額金	△2	△0
繰延ヘッジ損益	△1	—
為替換算調整勘定	—	△2
四半期包括利益	665	500

新製品・商品紹介 & トピックス

‘モバ美(ビュー)’の次世代となる業界初の新形状スチーマー

『プラチナホワイト うるおいステーション』 9月中旬より全国の 家電量販店で販売開始

『プラチナホワイト うるおいステーション』は‘24時間うるおい続ける’をキャッチフレーズに、外出先へ持ち運べる携帯型フォトミストの手軽さをそのままに、自宅では置き型スチーマーとして、たっぷり大容量のプラチナスチームが楽しめます。携帯型フォトミストと置き型スチーマーを組み合わせることで、業界初となる化粧水ミストと温スチームによる本格的な美容ケアを実現。また、就寝中も自動プログラムで約8時間、継続的にミストで保湿され、24時間の美容ケアを可能にしました。

業界初、化粧水で温冷美容 温冷トリートメント

温スチーム3分→冷(化粧水)ミスト1分→温スチーム1.5分→冷(化粧水)ミスト45秒を1セットとして自動噴霧する「温冷トリートメント」は、温かいプラチナスチームが肌を柔軟にさせ、専用化粧水が冷たい水素水ミストになったプラチナ水素水ミストで、美容成分が肌にしっかり届き、毛穴を引き締めます。温スチームの後に、化粧水で冷ミストをあびられるトリートメントは業界初の仕組みです。

たっぷり大容量プラチナスチーム

ツインヒーター採用により、従来器比1.8倍となる大容量の「プラチナスチーム」搭載だから、たっぷりのスチームが楽しめます。スチームを4つのノズルから噴霧することにより、大容量でありながらまんべんなくスチームが顔に広がるので息苦しくなりません。スチームの角度を上下に約30度調整できるので、顔だけでなく髪やデコルテまでスチームが届き、くまなく保湿します。

しっとり オールナイトミスト

「オールナイトミスト」はプログラムスタート時に2分温スチームを噴霧後、約8時間に渡って30分おきに30秒のミストが噴霧され、就寝中も絶えず水素水ミストが全身を保湿するので、朝までうるおいに包まれて眠れます。

99.9%の除菌と新機能を実現 業界初のクリーンモード(給排水システム)

「排水モード」で管に残った水が排水タンクへ自動回収され、熱で器内を乾燥させるので、99.9%除菌でき、衛生的に使用できる安心設計です。また、スチームとミストの給水タンクを別々に設けることで、化粧水と温スチームが同時に使用できます。さらに『プラチナホワイト うるおいミスト』が『プラチナホワイト うるおいステーション』に接続されると自動で給水・充電されるので、準備の手間なく『プラチナホワイト うるおいミスト』が携帯できます。



IR活動

2011年8月27日・28日に開催された

IRフォーラム2011東京に出展いたしました

2011年8月27日(土)、28日(日)に、ツバルの森主催の「IRフォーラム2011東京」に出展いたしました。

出展企業は当社を含めて15社、個人投資家の皆様のご参加は両日合わせて2,000名超となり、非常に成功した催しとなりました。

当社社長の対談形式の会社説明セミナーも満員御礼となった他、展示ブース内において1時間に1回開催したミニセミナーも毎回椅子のご準備が間に合わないほどのご出席を頂き、盛況に進めることができました。

また、当社ブース内に展示した商品にも大勢の投資家様にご興味を持って頂き、専門販売員による美容機器や化粧品の実演も行いました。

個人投資家の皆様に対する会社説明会の開催や、直に接する機会は今回が初めてであり、温かいお言葉を掛けていただいたり、貴重な生のご意見を伺うことができたりと、次のIR活動に活かすための非常に貴重な経験をさせていただくことができました。

今後もこのような個人投資家の皆様と直にふれ合う機会を設け、当社をアピールし続けていく所存でございます。



立会外分売

株式の立会外分売を下記のとおり実施しました。

分売実施日	株数	分売の値段	上限株数
2011年 10月14日(金)	291,700株	993円	5,000株

※ 当社は当社株式の東京証券取引所市場第一部銘柄指定の申請を行っており、今回の立会外分売は市場第一部銘柄指定の形式要件の一つである流通株式比率の充足を図るために行うものであります。但し、流通株式比率の充足を含め、何らかの理由で市場第一部銘柄指定の基準を満たさないと判断された場合には、市場第一部銘柄指定は承認されない可能性があります。

当社公式直販サイト「ヤーマンダイレクト」
<http://www.ya-man.com/shop/>

ご自宅のパソコンや携帯電話から、WEB上で当社製品・商品をご購入いただける直販サイトを運営しております。新製品・商品の直販や会員向けキャンペーンの開催など、サービスを拡充。美容健康機器、化粧品など、代表的な製品・商品ブランド別の公式直販サイトも紹介しております。

モバイルサイト <http://www.ya-man.com/shop/m/>

会社概要 (2011年10月31日現在)

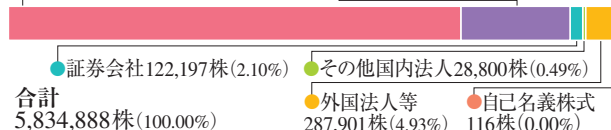
商号	ヤーマン株式会社
設立	1978年(昭和53年)5月27日
資本金	1,813百万円
従業員	127名(単体)、129名(連結)
事業内容	美容健康関連機器及び化粧品の研究開発・製造・販売、バラエティ雑貨等の仕入販売

株式の状況 (2011年10月31日現在)

発行可能株式総数	19,555,552株
発行済株式総数	5,834,888株
株主数	4,274名
単元株式数	100株

所有者別分布状況

●個人・その他 4,346,686株(74.50%) ●金融機関 1,049,188株(17.98%)



大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
山崎 行輝	1,037,860	17.78
株式会社日本政策投資銀行	888,888	15.23
山崎 静子	595,440	10.20
山崎 貴三代	357,760	6.13
山崎 光英	245,360	4.20
Victoria Yamazaki	208,000	3.56
山崎 知美	208,000	3.56
山崎 岩男	147,360	2.52
松本 行雄	107,960	1.85
池田 富江	80,000	1.37

役員一覧 (2011年10月31日現在)

代表取締役会長	山崎 行輝	常勤監査役	岩崎 榮治
代表取締役社長	山崎 貴三代	監査役	榑原 純一
取締役副社長	伊藤 千保美	監査役	山田 勝利
取締役	山崎 岩男	監査役	亀岡 義一
取締役	高橋 満		
取締役	宮崎 昌也		
取締役	戸田 正太		

株主メモ

事業年度	毎年5月1日から翌年4月30日まで
定時株主総会	毎年7月
基準日	定時株主総会 4月30日 期末配当金 4月30日 中間配当金 10月31日

公告方法 電子公告。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載。

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
取次事務は中央三井信託銀行株式会社の
全国各支店並びに日本証券代行株式会社の
の本店及び全国各支店で行っております。

■住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申出ください。